

1. 安倍内閣総理大臣による 第十一管区海上保安本部職員激励



巡視船「もとぶ」船長から船内説明を受ける安倍内閣総理大臣



安倍内閣総理大臣による職員激励

2月2日、安倍内閣総理大臣による第十一管区海上保安本部職員激励等が行われました。

安倍総理は、巡視船「もとぶ」において十一管区の業務説明及び船内主要設備の説明を受けた後、職員に対して『我が国周辺海域における警戒警備に日夜尽力していることを高く評価するとともに、その活動を全力を挙げて支援する。』等の訓示が行われました。

2. 釜石海上保安部 復旧した庁舎で業務再開



震災時の津波の高さが刻まれた庁舎

釜石海上保安部は、東日本大震災により釜石港湾合同庁舎が被災したため、仮庁舎で業務を行ってまいりましたが、震災から696日目となる2月4日、復旧工事が完了した庁舎で業務を再開しました。生まれ変わった庁舎は、敷地を高くして地盤沈下による満潮時の浸水に備えるとともに、非常用の電源や飲料水を確保するなど、大規模災害が発生した場合にも一定期間、業務可能となるよう配慮されています。

○かいほニュースは海上保安庁ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kaihonews/index.html>

海上保安庁 〒100-8976 東京都千代田区霞が関2-1-3

03-3591-6361(代表)

(編集・企画)海上保安庁総務部政務課 政策評価広報室

～自己救命策 3つの基本～

海に落ちても沈まない
ライフジャケット
の着用

1



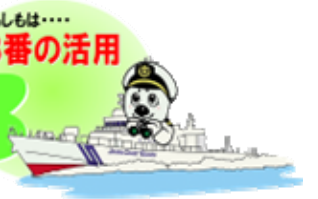
急事でも大丈夫(防水パックの活用)
携帯電話の携行

2



海のもしもは……
118番の活用

3



3. 十勝太ロランC局 49年の歴史に幕



解体されるロランC局の送信鉄塔

2月1日、第一管区海上保安本部の航路標識事務所が運用する十勝太ロランC局(浦幌町)が閉局しました。十勝太ロランC局は「電波の灯台」として昭和38年に米国沿岸警備隊により開局され、平成5年からは海上保安庁が運用していましたが、GPSの普及による利用者減少のため49年間の歴史に幕を下ろしました。5日には送信鉄塔の解体作業が行われ、爆破の轟音と共に鉄塔を支える支線が切断されると、鉄塔はゆっくりと倒れました。

4. 海上保安庁音楽隊コンサート で海洋情報業務のPR



パネル展示



演奏曲間での業務紹介



2月6日、海上保安庁音楽隊は、テレコムセンタービル(江東区)において定期的に行われている、アトリウムコンサートに出演しました。同ビルの隣には海上保安庁海洋情報部の庁舎があることから、海洋情報部の業務をパネル展示等により一般の方々に広く紹介しました。当日は雪が降る悪天候にもかかわらず、多くの方々にご来場いただきました。

○かいほニュースは海上保安庁ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kaihonews/index.html>

海上保安庁 〒100-8976 東京都千代田区霞が関2-1-3

03-3591-6361(代表)

(編集・企画)海上保安庁総務部政務課 政策評価広報室

海の「もしも」は**118番**

